

和泉市 生活環境課

『ベランダ d e キューロ』平成29年4月から6月のモニタリング結果

生ごみの減量を目的に、平成26年12月より『ベランダ d e キューロ』を使ってモニタリングをおこなっています。

黒土の中にいる微生物が生ごみを分解していますが、どういった物が分解できるのか、臭いや虫など発生しないのか、また、どれだけの減量効果があるのか経過を観察しています。

1. 期間：平成29年4月から6月
2. 場所：市役所内（2号館1階にある生活環境課近くの出入口脇）
3. 投入物：市役所内喫茶食堂残渣 約400g
※主に野菜類が中心で調理くず、ヘタ、皮など
(キャベツ、玉ねぎ、にんじん、ねぎ、もやし、かまぼこ、漬物、厚揚げ、こんにゃく、こんぶ、ごはん、たまごの殻、バナナの皮、麺類)
4. 投入回数及び処理量：
毎週火曜日・金曜日の週2回投入
合計 18回投入
処理量 6,275g (18回×348g)
5. 土の温度：各月平均温度 [4月 18℃、5月 21℃、6月 22℃]
6. 分解日数：分解するまで 3日から5日程度

7. モニタリング状況：

モニタリング開始以降、経過は順調で、臭いの発生も無く、生ごみの分解も良好でした。外気温、土の温度、物の大きさによって分解速度が変わるため、なるべく細かくしてから投入するほうが良いようです。

4月以降、投入する水量の加減の誤りか梅雨の時期の湿気のためか、コバエの発生がありました。コバエは、腐ったものや溜まった泥から発生するため、一度改めて土をよくかき混ぜて様子を見ようと考えております。

今後も経過を観察しながら、いろいろな物を使ってモニタリングをおこなっていきたいと考えます。

8. 投入写真：

平成 29 年 5 月 26 日



投入時の写真です